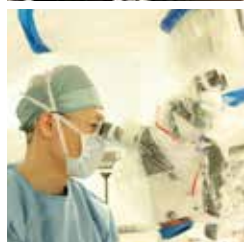




「あの病院に行けばなんとかしてくれる」
 北原病院グループはあなたの「あの病院」を目指しています。



PHILOSOPHY 法人理念

知恵と癒しで医療を変える、世界を変える

進む深刻な少子高齢化、そして行き過ぎた資本経済の結果、起こるべくして起こった新型コロナウイルスパンデミック。多くの人がこれまでの医療や社会の在り方ではいけないと気づき始めています。

医療と世界を「本来あるべき姿」に変え、東京都八王子市から日本中に、そして世界に拡げていくことが私たちの仕事です。

HOSPITAL CONCEPT 病院コンセプト

「あの病院に行けばなんとかしてくれる」 私たちはあなたの「あの病院」を目指します。

私たちはこれまで、あなたの「あの病院」になるために、東京都の八王子市で脳と心臓の疾患を中心に、脳神経外科、循環器内科、神経内科、消化器外科、精神科などの診療を行ってきました。北原国際病院では 24 時間 365 日、救急患者さまを受け入れ治療し、北原リハビリテーション病院では、徹底的な自立を目指すリハビリテーションを行います。北原 RD クリニックでは予防のための検診を、北原ライフサポートクリニックでは定期的な外来診察を行なっています。さらには北原病院グループの株式会社 KMSI と協力し、北原トータルライフサポート倶楽部として従来の医療にとらわれない、皆さまの自宅での生活を包括的にサポートするサービスも展開しています。

予防、救急、手術、リハビリテーション、そして「人生すべて」を一貫してサポートする。これからも、変わり続ける社会で、変わらずに皆さまに困った時にいつでも頼っていただける「あの病院」を目指し続けます。





KITAHARA N.I.

北原国際病院



24時間 365日 脳と心臓の救急患者を受け入れ

北原国際病院では、八王子市とその周辺の救急患者さまを24時間365日、いつでも受け入れられる体制をとっています。救急車を年間約2000件受け入れており、救急応需率は都内平均74%を大きく上回る90%以上を保持しています。脳卒中治療では東京都で上位に入る実績があり、脳神経外科専門医5名、血管内治療専門医2名が在籍しており、脳神経外科において専門性の高い治療を提供しています。また、脳と心臓の疾患以外の患者さまの一時受け入れも行っており、当院で治療が難しい場合は応急処置を行いつつ、治療のできる病院との連携を図っています。



脳梗塞は時間との勝負！最短で治療するために独自のシステムを採用

脳梗塞の治療は時間との勝負。治療開始が遅れるほど重篤な後遺症が残るリスクが高まります。当院は24時間365日、救急患者さまを受け入れているだけでなく早く治療を進めるために独自のシステムを採用しています。

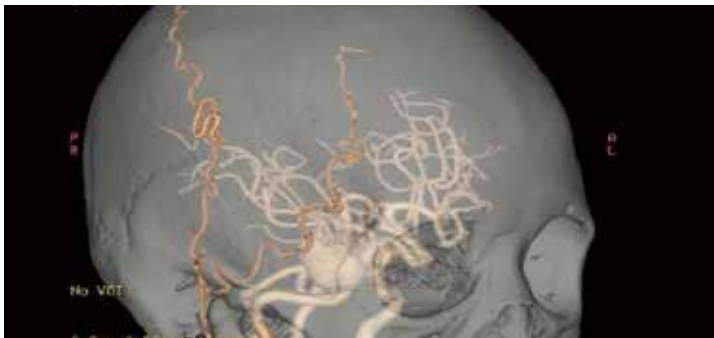
一般的に病院では看護師は救急外来、手術室、病棟などに固定配属されますが、当院では看護師が病棟を越えて勤務しています。手術が必要な患者様の搬送時には救急外来の看護師が救急処置を行い、そのまま手術看護師として手術にも入ります。部署間の申し送り時間の削減や一貫した治療の提供が可能となり早く治療を始めることができます。



脳血管疾患を診るために適切な機器を用意

いつでも脳疾患とその予兆を見逃さないために、下記の機器を24時間365日、常に稼働させています。

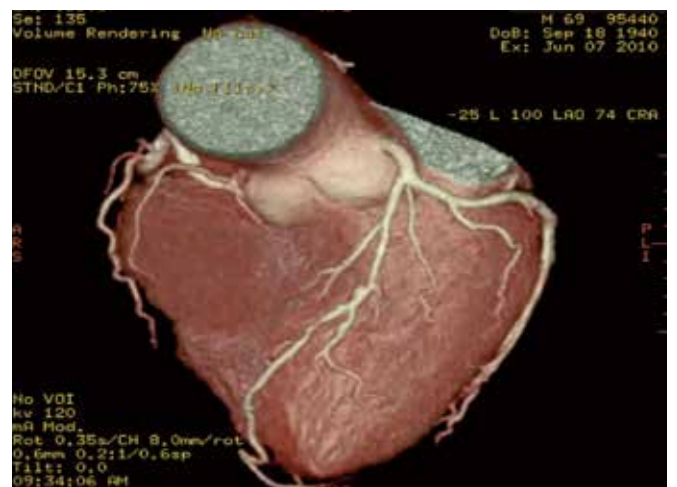
- MRI(3 テスラ、1.5 テスラ) × 2 台
- CT(64 チャンネル、2 チャンネル) × 2 台
- DSA 血管造影装置
(バイプレーン、シングルプレーン) × 2 台
- 脳波計 × 2 台



脳血管疾患だけでなく、関係する疾患もカバー

脳血管疾患と関連が多い心筋梗塞、狭心症、不整脈、心不全等の心疾患に対しての検査も行っています。3次元CT装置を使って心臓を撮影し機械処理された画像を見て冠動脈（心臓に栄養を送る血管）の狭窄部分を発見する検査は約30分程で終了します。心電図異常があり狭心症が不安な方や、糖尿病や高脂血症があり動脈硬化が心配な方に有用な検査です。

心臓に血液を送っている冠動脈の狭窄や閉塞が見つかった場合、PCI（経皮的冠動脈形成術）も受けることが可能です。PCIは手首や腕、鼠径部の血管からカテーテルを入れて冠動脈の狭窄や閉塞を治療します。特に急性心筋梗塞では命に関わる病気であり迅速で適切な治療が重要です。



外来診療は即日検査・即日診断



患者さまに安心してご帰宅いただけるよう、その日のうちに検査・診断を行っています。診察、検査、検査結果の説明を別日に行う病院が多いですが、急を要する脳の病気の場合、検査結果が分かるまでに時間がかかると最悪、手遅れになってしまうことも考えられます。

即日検査・即日診断を行なうことで、脳の病気の早期発見、治療を行います。

脳を救うため適切な治療方法を選択

当院は脳卒中の治療において関東地方で上位の治療実績を誇る病院です。治療内容の特徴は開頭手術と血管内治療をバランスよく行っていることです。開頭手術を行うべきか血管内治療を行うべきか、患者さまの病状によって最適な方法は違います。「どちらが優れている」ではなく、「どちらが患者さまにとってメリットが多いか」という視点で最適な治療方法を選択しています。



脳神経外科専門医、血管内治療専門医が在籍。高レベルな手術を提供

脳卒中に対する手術件数は多く、開頭クリッピング術も毎年 50 件以上行っています。その他、直達手術としては開頭腫瘍摘出術、開頭血腫除去術、STA-MCA バイパス術、微小血管減圧術、頸椎を中心とする脊椎手術などを実施しています。

2017 年度からは脳神経外科医をさらに増員し、より多くの患者さまに対応できる体制を整えました。

2020 年 開頭手術実績

脳腫瘍に対する手術	18 件
脳血管障害に対する手術	81 件
頭部外傷に対する手術	131 件
水頭症に対する手術	37 件
脊椎、脊髄に対する手術	10 件
機能的手術（微小血管減圧術）	4 件
その他手術	19 件



血管内治療専門医が最先端の治療を提供

脳卒中でも早く適切な治療を行えば治る時代になりました。脳血管内治療はカテーテルを用いて脳血管に詰まった血栓を取り除いたり、コイルを用いて脳動脈瘤を詰めて破裂を予防する治療です。

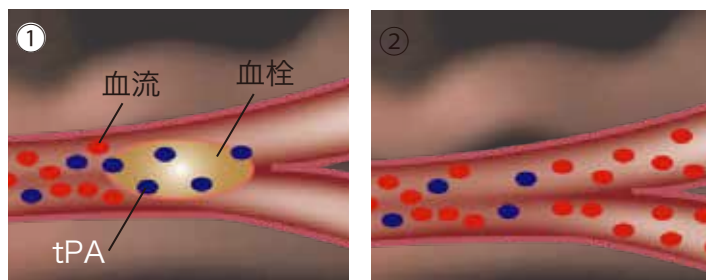
血管内治療は治療を行える医師がまだ少ないため東京都内でも受けられる病院が多くありません。当院では複数の専門医を調べ、確実に安全に治療を行える体制を築いています。閉塞した脳の血管を再開通させる血栓溶解療法、血栓回収療法、血管の閉塞や狭窄を防ぐ頸動脈ステント留置術、動脈瘤の破裂を予防する脳動脈瘤コイル塞栓術など年間 100 例以上の症例実績があり、特に血栓回収療法、頸動脈ステント留置術は都内有数の症例数を誇っています。



tPA 静注療法と血栓回収療法

脳梗塞の標準的な治療、tPA 静注療法

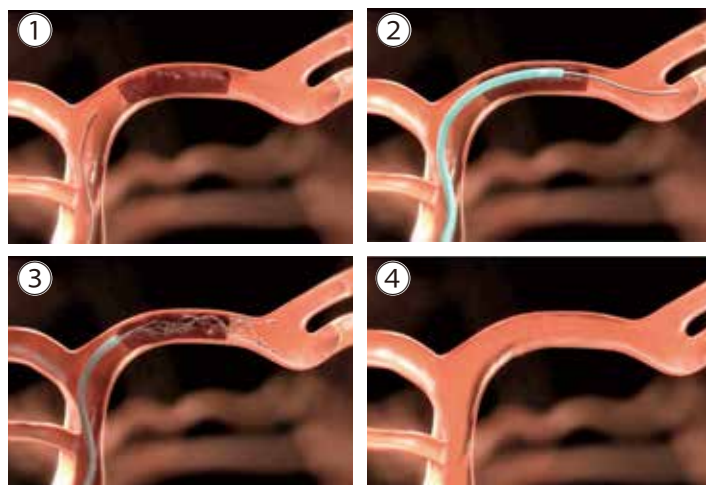
現在、脳梗塞の標準的な治療の 1 つに tPA (アルテプラゼ) 静注療法があります。tPA という薬剤は、詰まった血栓を溶かす作用があり、これを急速に点滴し、脳の血栓を溶かし、再度血液が流れるようにする治療です。発症 4.5 時間以内にこの薬剤を静脈内投与できれば、脳梗塞が劇的に良くなる可能性があります。



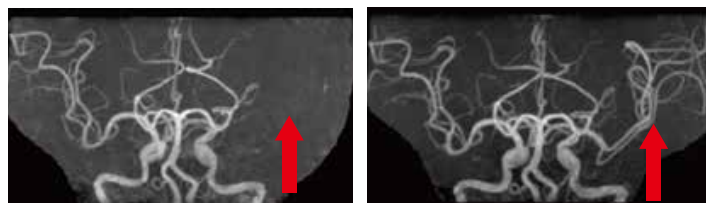
tPA 静注療法のイメージ

血栓回収療法とは

tPA 静注療法は発症から 4.5 時間以内と適応時間が短く早期の再開通率が低いこと（およそ 30-40%）、主幹動脈と呼ばれる太い血管に対して再開通率が低いことが課題となっています。そこで tPA 静注療法によって症状の改善が認められない場合や治療の適応外の症例に対して、より治療効果が高いとされるカテーテルを用いた脳血管内治療が行われるようになりました。血栓回収療法とは右図のように、脳の血管に詰まってしまった血栓を専用の機器を使って絡め取り、脳の血管の血流を再開通させる治療法です。当院で使用しているステント型血栓回収デバイス Solitaire FR (Covidien 社) や Trevo (stryker 社) は 2014 年 7 月に認可されたデバイスで、それを用いた治療法は tPA 静注療法よりも治療効果が良好というデータが出ていますが、まだ、この治療を行える医師が少なく、24 時間体制で施行できる病院も少ないのが現状です。北原国際病院には専門医が在籍しており、24 時間 365 日いつでも本治療ができる体制を整えています。



血栓回収療法のイメージ



血栓回収療法前の MRI 画像

血栓回収療法後の MRI 画像

北原リハビリテーション病院



短い入院期間でしっかりよくするリハビリテーション専門病院

脳卒中後遺症が回復するゴールデンタイムは発症から 3 ヶ月間と言われています。この期間にどれだけリハビリテーションを行えるかで回復度合いは変わってきます。当院では院内での集中的なリハビリテーションだけでなく入院早期から退院後の生活を想定した自宅での超実践的なリハビリテーションも行います。長期入院による身体機能や認知機能の低下を防ぐため入院期間はなるべく短くするようにしています。

「よくなりたいと本気で考え、努力することができる」患者さまが自立するためのリハビリテーションを徹底的にサポートします。



当院の実績

「短い入院期間でしっかりよくする」のコンセプトのとおり、全国平均より大幅に短い期間で全国平均を上回る回復と在宅復帰率を達成しています。

平均在院日数
34.8日
全国平均 83.2日

FIM 利得(運動項目)
(リハビリ効果の指標)
20.3点
全国平均 19.0点

在宅復帰率
77.5%
全国平均 77.4%

令和元年 回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書
回復期リハビリテーション病棟協会より



脳卒中のゴールデンタイムに徹底したリハビリテーション

生活の場で実践的リハビリテーション

退院後の生活を見据えて後遺症の回復が最大限期待できる発症早期から、出来るだけ多く自宅でのリハビリテーションを行います。

病院内でリハビリテーションを受けているだけでは自立して生活できるようにはなりません。実際の生活場面の課題を早期に認識し具体的な課題解決を目標にリハビリテーションを行うことが自立に直結するのです。



1日3時間以上の個別リハビリテーション

スタッフと1対1で行う個別リハビリテーションは多くの病院で1日3時間までです。しかし当院では選定療養制度を利用することで3時間を超えて個別リハビリテーションを受けることができます。個別のリハビリテーション以外にも各階に用意されたデイルームで集団リハビリテーションを行っています。当院に入院したらベッドで寝ている暇はありません。1日でも早くご自宅へ帰るために生活全てをリハビリテーションにさせていただきます。



退院後に始まる本当のリハビリテーション

リハビリテーションは退院したら終わりではなく、退院後も生活の場を自宅に変え継続する必要があります。そのために、ご自宅でも1人でリハビリテーションを継続できるよう入院中に自主トレーニングを指導します。また退院後も専門的なリハビリテーションが必要な方は外来や訪問でリハビリテーションを受けていただけます。



レストランで食べたい時に美味しい食事を



病院にいたことを忘れてしまうホテルのようなレストランでお食事していただきます。オープンキッチンで作り立てのお食事を提供しています。時間や席も自由に選べ、食事を楽しんでいただくことを追求しています。

またお酒も提供しており、患者さまにとっての適量を入院中に把握することで退院後の生活の不安を減らすことができます。お酒好きな方やリハビリテーションで疲れた方へはご褒美としても有効です。

リハビリテーションで疲れた身体を癒す「森の中の温泉」

温泉で疲れを癒しリハビリテーションへの活力を

疲れた身体を癒してくれる天然温泉。ここでは温泉の窓の外に広がる山々の風景もお楽しみいただけます。

浴室には生きた植物が植えられており、まるで森の中にいるような気持ちにさせてくれます。ご家族で温泉を楽しみたい方のために家族風呂もご用意しました。

リハビリテーションに休養は大切。温泉で疲れをとることで明日への活力を取り戻すことができます。



病院のイメージを変えるホテル仕様の空間

建物、家具、サービス、全てがホテル仕様

「病院に行くだけで気がめいってしまう」そんな経験をされたことはありませんか？

病院という空間は落ち着かず、休養に適していません。当院の建物、お部屋、サービスは患者さまがしっかりと休養できるように病院ではなくホテルをイメージして作られています。これからの病院のスタンダードがこの病院から始まります。



ホテルのようなベッドでしっかりと休養

お部屋に用意された家具はベッド・家具・照明・カーテンなど全てこだわり抜いた特製のものを使用しています。ホテルのような作りでありながら患者さまが生活しやすい工夫がなされています。

日中に集中してリハビリテーションを行った後、お部屋でしっかりと休養することができます。

各階に用意された集い、楽しむ場所

当院の各階には、患者さまに日中過ごしていただくためのデイルームがあります。各デイルームはまるでホテルのロビーのような空間から宇宙船の中のような空間まで趣の違う内装となっています。ここでは集団リハビリテーションや患者さまが集い余暇を楽しむためのイベントを行う他、休憩の場として使っていただけます。



リハビリテーションをさらに進展させる先端システム

顔認証システムによる安心の入院生活

不審人物の侵入を防ぐこと、1人で出歩くと危険がある患者さまが病院の外に出てしまうことを防ぐことは安心して入院生活を送るために大切なことです。当院では顔認証システムによる入退管理を行ない患者さまの入院生活を守ります。



スタッフの経験に依存しない AI サポートで適切なリハビリテーション

リハビリテーションや看護の記録をスマートフォンで閲覧、編集できるよう業務の効率化を行っています。

また IT 企業と協力して医療データを AI(人工知能)が解析、データに基づいた有効な介入方法を提示するシステムなど、スタッフの経験に依存せずに適切なリハビリテーションが提供できるよう開発を進めています。



独自の自主トレーニング支援システム

リハビリテーションは適切な方法であれば量が多いほど効果が出やすいと言われており、スタッフとのリハビリテーションの時間以外に自主トレーニングを行うことは非常に重要です。当院では患者さまが、いつでもどこでも適切な自主トレーニングを行えるように、IT 企業と共同開発した自主トレーニング支援システム「どこでもリハ」を導入しています。



病院の周りに広がる癒しの場「ヒーリングファシリティ」



楽しみを求めて人が集い、自然と触れ合い、繋がりを持つことで免疫力が高まり、病気を遠ざける、それが私たちが目指す医療の場「ヒーリングファシリティ」です。

今も病院の周りには小さいながらもヤギの牧場や果樹園、ハーブ園、バラ園があります。将来は四季折々の花々が咲き乱れ、様々な動物と触れあえる、これまで病院に来ることがなかった元気な人たちも楽しみを求めて立ち寄れる緑地公園になる予定です。

北原ライフサポートクリニック



八王子駅前に高度な医療設備とホテルのような癒しを

北原ライフサポートクリニックは外来専門のクリニックです。
JR 八王子駅南口から徒歩 1 分、リゾートホテルのような内装に高度な医療設備を備えており、13 の診療科の医師による充実した診療や多彩な検診メニューを受けることができます。小児科の診療も行っているため、授乳室やキッズルームもあり、小さなお子さま連れの患者さまも受診しやすくなっています。



北原国際病院と同等の医療機器で即時検査・即日診断

患者さまに安心してご帰宅いただけるよう、即日検査・診断を基本としております。診察日に検査日を決めて、検査日に結果報告日を決めると、自分の身体に今何が生じているのかいつまでたっても結果が分からず不安になるものです。

当クリニックでは即日検査・即日診断を行なうことで、患者さまの不安な気持ちにも寄り添います。



様々なニーズに応える 13 の診療科

当クリニックは総合診療科、脳神経外科、神経内科、循環器内科、内科、内分泌代謝内科、整形外科、心臓血管外科、消化器内科、形成外科、精神科、小児科 / 小児外科、てんかん / 小児神経科と 13 の診療科をそろえています。当クリニックにかかればいくつものクリニックにかかる必要はありません。また急性期病院の北原国際病院と連携しており、万が一、入院や手術が必要な状態を発見した場合は北原国際病院が万全の体制でサポートします。



ワンコインドック・ベーシック脳ドックなど多彩なドックをご用意



生活習慣が気になる方を対象とした 500 円から受けられるワンコインドック、ベーシック脳ドック、大腸 CT ドック、肺ガンドック、心臓ドック、抗加齢ドックなど通常の検査よりも時間がかからずリーズナブルな価格で受けられる検診メニューを多数用意しています。

手軽に受けられるので、健康が気になるけど時間がなくこれまで検査を受けられなかった方にもぴったりです。

各種検診・予防接種も実施

八王子市特定健診や乳児検診、八王子ガン検診、法定健診（定期健康診断）などの検診や、小児予防接種や高齢者予防接種など八王子市の定期個別予防接種や自費での予防接種を受けることができます。お電話にてお問い合わせください。



オンライン診療も提供



当クリニックでは、ご自宅にしながら診察が受けられるよう、総合診療科と脳神経外科の再診をご希望の方にオンライン診療も行っています。

※「オンライン診療サービス curon(クロン)」というアプリケーションを用いて行っております。ご利用にはアプリケーション上での登録及び事前のご予約が必要です。

北原 RD クリニック



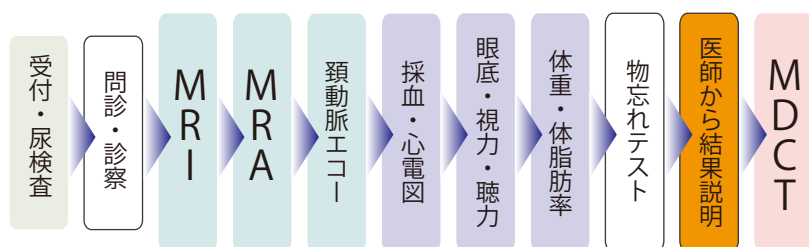
脳ドックの先駆的医療機関。予防専門のクリニック

突然発症する脳卒中は恐ろしい病気です。しかし予防できないわけではありません。一見、唐突に見える脳卒中の発症ですが、脳の血管異常（動脈瘤や、脳血管狭窄）などが原因になっている場合があります。当院で脳ドックを受ければ、これらの危険な所見を前もって見つけ出し治療や予防に結びつけることができます。小さな動脈瘤や年齢相応の無症候性脳梗塞は治療の対象とはなりませんが、その発見は今後のリスク管理に役立ちます。また、脳腫瘍も症状が出る前に見つければ、ご自身の状況にあわせて治療方針を選択することができます。



検査終了後に医師が結果説明。不安や疑問をその場で解消

脳ドック基本セットの流れ



検診では、検査終了後に医師より結果説明をその場で聞くことができます。脳の状態、治療の必要性の有無、生活に関する助言などを詳しく説明いたします。お待たせしない完全予約制かつ問診から結果説明まで1時間30分、忙しい方にも最適です。

マンモグラフィーを主体としたレディース検査



エコー（超音波診断装置）
HITACHI ARIETTA 60



GE 社製 デジタルマンモグラフィー
Senographe 2000D

今、世界の先進国で急速に増加している乳がんは、日本においても女性の最大の敵といって良いでしょう。当院には、NPO 法人マンモグラフィー検診精度管理中央委員会による認定試験に合格した女性の医師、女性の診療放射線技師が在籍していますので、マンモグラフィーを安心して受診していただけます。マンモグラフィーに加え乳腺超音波検査、視触診と組み合わせて検査を行います。

北原トータルライフサポート倶楽部



人生をトータルサポート。医療のプロが提供するなんでも屋

人生・生活をまるごとサポート

患者さまの自宅での生活をサポートするサービスとして北原病院グループの株式会社KMSIが提供する「北原トータルライフサポート倶楽部」をおすすめしています。本倶楽部は医療のプロが提供するなんでも屋です。24 時間医療者に相談でき、必要時は自宅まで駆けつけてもらえるサービスや自費でのリハビリなど医療関連サービスはもちろん、家事代行、行政手続きのお手伝い、旅行などへの付き添いなどの公的保険ではカバーできないことも含め生活をまるごとサポートします。



脳卒中の再発、退院後の転倒に素早く対応

脳卒中は年間で 20 人に 1 人、10 年間では約半数の方が再発すると言われています。また、退院後に自宅での転倒を心配される方は多いです。

「24 時間相談・駆けつけサービス」「救急医療サポートサービス」を使えば、万が一再発や転倒が起こっても、救急病院である北原国際病院と協力して適切で迅速に対応します。

※本サービスは、株式会社 KMSI が提供する有料のサービスです。会員登録は任意となります。
詳細は右 QR コードのリンク先でご覧いただけます。



いろどりの丘



宮城県東松島市の新たなライフスタイルの発信基地

「いろどりの丘」は「みんなが集い、楽しみ、健康になる、新たなライフスタイルの発信基地」をコンセプトに、レストラン・カフェ、お風呂・岩盤浴、ホテル、様々な用途に使える多目的ルーム、みんなで創るガーデン、クリニックや介護施設（小規模多機能型居宅介護施設）が一体となった全く新しい施設です。この施設を拠点に関わる人々と一体となり、豊かな生活を探求しています。



震災からの 10 年間の取り組みで辿り着いた答え

いろどりの丘は、2011 年の東日本大震災で津波の被害にあった宮城県東松島市にあります。今では家や公共施設などインフラやハードは整備され生活は復旧しました。しかし文化や産業、精神的に豊かな生活は戻っていません。北原病院グループは震災直後から 10 年間、現地で医療を提供しながら住民と話しあい、東松島に必要なものは何か、自分たちにできることは何かを考えてきました。

辿り着いた答えは、ただ文化を取り戻すのではなく、少子高齢化や医療資源不足という課題も解決できる、健康に生きるための叡智を加えた新たな文化を創ることです。いろどりの丘は「健康寿命が長い豊かなまち」という新たな文化を住民と共創することを目指します。



北原ライフサポートクリニック東松島

北原ライフサポートクリニック東松島は 2012 年から東松島市ひびき工業団地内で「医療をツールとしたまちづくり」を実現すべく外来診療、訪問診療や訪問リハビリテーションを提供してきました。2021年からはいもりの丘の中で診療を行っています。

当クリニックが目指す医療は「薬に頼りすぎず、人間が本来持っている免疫力を高める医療」。楽しい運動、美味しい食事、美しい自然、人同士のつながりなどを処方して病気を遠ざける体をつくることを目指しながら、内科、脳神経外科、小児科、訪問リハビリテーションの診療を行っています。



小規模多機能型居宅介護いもりの丘



小規模多機能型居宅介護いもりの丘は、いもりの丘の中にあります。ここでは「通い」「泊り」「訪問」の介護サービス、個別性の高いリハビリテーションを提供しています。また商業エリアにあるレストラン、カフェ、岩盤浴などを活用して、医療スタッフがお体の状態にあわせたオーダーメイドの活動を提案します。北原ライフサポートクリニック東松島が併設されているので、定期受診も円滑に受けることができます。また万が一の急病、怪我の際にもすぐに対応することができます。

いもりの丘の商業エリア

いもりの丘の商業エリアは北原病院グループの株式会社KMSIが運営しています。1つの建物にレストランやお風呂、岩盤浴、多目的ルーム、ホテルがあり地域住民に限らず、誰もが集い愉しめる施設を目指しています。



サンライズジャパン病院



カンボジアに地消地産の医療を創る

2016 年 10 月にカンボジアの首都プノンペンにオープンした最新鋭の設備を備えた救命救急センター「サンライズジャパン病院」。ここでやっているのは、カンボジアに「地消地産の医療」を作り出すアウトバウンド型の医療輸出です。

サンライズジャパン病院では、日本人スタッフと北原病院グループで研修を受けたカンボジア人スタッフが高品質な医療を提供するだけでなく、カンボジアの医療の発展と人材教育、医療を通じた社会開発を行っています。



働いているカンボジア人医療者は KNI で研修を受けたスタッフ

サンライズジャパン病院で働くのは北原病院グループのスタッフ約 20 名とカンボジア人スタッフ約 250 名。日本の北原病院グループで研修を受けたカンボジア人スタッフも多くいます。日本で研修を行ったのは日本の「思いやりの医療」を学ぶため。知識や技術も必要ですが、日本の医療をカンボジアで提供するためには、実際に文化に触れ、日本人の考え方を学ぶことが重要だと考えました。現在、逞しく育ったカンボジア人スタッフたちがサンライズジャパン病院で働いています。



カンボジアってどんな国？

カンボジアは今、急激な経済発展を遂げています。首都プノンペンには日本のイオンがオープンし、高層ビルの建築ラッシュ、外資系企業も多く進出しており、生活に困ることはありません。では、医療はどうでしょうか？

70年代後半に起きた内戦で多くの医療者が殺害された影響で、現在に至るまで医療の質・量ともに不十分な状態が続いています。そのため、カンボジア人の富裕層は年間20万人以上がタイやシンガポールに質の高い医療を求めて渡航しています。一方、貧困層は満足な医療を受けることができず、助かる命が失われています。カンボジアは経済と医療の発展が乖離してしまった国と言えるでしょう。



北原病院グループが進めるアウトバウンド型の医療輸出とは？



建物や医療機器の寄贈や短期的な医療ボランティアの介入では医療途上国の抱える問題を解決することはできません。

北原病院グループが進めているのは教育システム、ITシステム、建築、食の流通など医療に関わる全てのものをその国に適したかたちで構築し、公平な医療提供システムを持った「地消地産の医療」を作り出すアウトバウンド型の医療輸出です。サンライズジャパン病院はアウトバウンド型医療輸出の第1弾で、医療の発展と人材教育、医療を通じた社会開発を目指しています。

また海外で新しく開発した医療システムやサービスを日本に逆輸入し、日本の医療をよりよいものに革新することも計画しており医療の輸出産業化は多くの可能性を秘めています。

患者様の過ごしやすさを追求！緑あふれる病院

サンライズジャパン病院は救命救急機能を持っていますが病院内には緑が溢れており、過ごしやすさを追求しています。日本の病院と同等の治療が行える設備と日本では使われていないITシステムを導入し、カンボジアで最高クラスの医療を提供しています。全国民に適切な医療を提供することを目指します。



医療法人社団 KNI のグループ施設

北原国際病院



所在地 東京都八王子市大和田町 1-7-23
電話番号 042-645-1110

北原リハビリテーション病院



所在地 東京都八王子市左入町 461
電話番号 042-692-3332

北原ライフサポートクリニック



所在地 東京都八王子市子安町 4-7-1
サザンスカイトワー八王子 1F
電話番号 042-655-6665

北原 RD クリニック



所在地 東京都八王子市大和田町 4-1-18
電話番号 042-656-2221

いろどりの丘



所在地 宮城県東松島市野蒜ケ丘 2-25-2
電話番号 0225-98-5571

サンライズジャパン病院



所在地 #177E, Kola Loum Street, Group2,
Phum 2, Sangkat Chroy Changver,
Khan Chroy Changvar, Phnom Penh
電話番号 +855-23-432-022

